

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成25年度 第1回理事会 議事録

日 時: 平成25年4月10日(水) 13:00~17:25

場 所: JBAオフィス 8F会議室

出 席: <理事>

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、鈴木秀太、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊、吉田長寿、吉田利治の各理事

<監事>

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

<特任委員>

内山英司、小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠 席: 麻生太郎会長、上島正光特任委員

議 題

- (1) 稟議・起案決裁規程の制定および職務分掌規程の改訂について
- (2) FIBA内規違反について
- (3) 選手エージェント規則の制定について
- (4) 2014年度 FIBA ASIA大会開催地公募について
- (5) 男子強化関係について
- (6) 女子強化関係について
- (7) 東日本大震災復興支援に関わる大会冠名称について
- (8) 大会要項について
- (9) 日韓交流事業の共催依頼について
- (10) ミニバスケットボールのコートデザインの運用について
- (11) 国内競技日程検討委員会関係について
- (12) 3x3活動計画について
- (13) オフィシャルズ・マニュアルの製作について
- (14) 指導現場における暴力行為等の根絶について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:21名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

(1) **稟議・起案決裁規程の制定および職務分掌規程の改訂について**（堀井理事）

業務執行に関する権限を明確にするため、「稟議・起案決裁規程」を制定すること、また、現行の組織に応じ「職務分掌規程」を改訂することが提案された。尚、「稟議・起案決裁規程」には、専務理事不在の間の経過措置として、会長職務代行または3副会長による合議とする事案を定めた。

これらを審議の結果、一部字句の修正を加えた上で承認された。

<承認>

(2) **FIBA内規違反について**（堀井理事）

シャンソン化粧品の新規選手の国際移籍について、FIBAからの決定事項の報告があり、JBAとしてはこの決定を受諾することが確認され、また、シャンソン化粧品も受諾する意思を確認済みであること、さらに、中国協会からも上訴手続きが行われていないことが報告された。

これについて、JBA内の規程（※弁護士とも相談の上、本件発生当時の「倫理規程」および「加盟・登録規程」を適用）に照らし、シャンソン化粧品に対する懲罰案等について、裁定委員会に諮問することが提案され、承認された。

また、若年層の国際移籍に関する規定違反の再発防止のため、FIBA内規の国際移籍に関する条項およびレターオブクリアランスの内容・手続きについて、加盟団体等への周知・徹底を図ることが確認された。

<承認>

(3) **選手エージェント規則の制定について**（堀井理事）

FIBAの定めるエージェント（代理人）制度を順守するとともに、基本規程の細則として、「選手エージェント規則」を制定することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(4) **2014年度 FIBA ASIA大会開催地公募について**（水谷理事）

FIBA ASIAより2014年度の大会（①U-18女子選手権、②U-18男子選手権、③FIBA ASIAカップ、④FIBA ASIAチャンピオンズカップ）の開催地公募があり、2014年度は招致を見送ることが提案され、承認された。

<承認>

(5) **男子強化関係について**（佐古理事）

2014年のワールドカップ（世界選手権）、さらには2016年、2020年のオリンピックを見据えた強化の一環として、2014年度の男子日本代表チームスタッフおよび候補選手19名が提案された。また、5月16日からは東アジア選手権大会が開催されることから、19名の候補選手の中から東アジア選手権大会に派遣する12名の選手も同時に提案され、いずれも原案通り承認された。

<承認>

(6) 女子強化関係について（高橋理事）

7月18日～28日に開催されるFIBA U-19女子世界選手権に向けたU-19女子日本代表チームスタッフおよび選手12名、また、次世代の継続的な強化を目的としたU-18女子日本代表チームスタッフおよび選手17名が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) 東日本大震災復興支援に関わる大会冠名称について（堀井理事）

JBA主催大会における東日本大震災復興支援活動について、今後も継続して実施していくこと、また、冠名称は日本体育協会の方針に則り、「東日本大震災復興支援」を利用することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) 大会要項について（庄司理事）

「第36回李相佰杯争奪日韓学生競技大会」、「第32回全国ママさん交歓大会／2013年日韓ママさん親善大会」、「第51回男子 第42回女子 全日本教員選手権大会」、「日本スポーツマスターズ2013」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(9) 日韓交流事業の共催依頼について（堀井理事）

日本体育協会より「第17回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流(派遣・受入)」の共催依頼があり、これを受諾することが提案され、承認された。

<承認>

(10) ミニバスケットボールのコートデザインの運用について（吉田(利)理事）

2011年度からのコートデザインを含む大幅なルール変更に伴い、ミニバスケットボールのコートについても一定のルールのもと、新コートデザインの利用を認めることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(11) 国内競技日程検討委員会関係について（吉田(長)理事）

国内競技日程検討委員会の検討事項の内、オールジャパンについての改変案(推薦枠、大会日程、強化奨励金等)が提案され、原案通り承認された。尚、エントリー数や外国人競技者のオン・コート数等細かい内容についてはオールジャパン実行委員会を立ち上げてその中で協議し、7月の理事会までに決定することとした。

次に、委員会のまとめとして「国内競技日程に関する提案と提言」が提出され、総括、提言(世界の動きおよび国内の現状と課題)、提案(各世代別大会の実施状況と提案概要)について説明があった。さらにこれらの提案を実現するために、専務理事を中心としたオフィス内のプロジェクトを設置し、より具体的な実行計画を企画し、遂行していくことが提案され、承認された。

<承認>

(12) 3x3活動計画について (吉田(長)理事)

2013年度からの3x3(スリーバイスリー)の本格的な取り組みにあたり、JBA内に3x3推進室を設置すること、また、ゼビオグループとの協働事業の一環として、国内での3x3イベント(フェスティバルおよびトーナメント)を実施することが提案された。

さらに、FIBA主催の3x3ワールドツアー アジア・オセアニアステージの日本開催(オーガナイザーはクロススポーツマーケティングとなり、JBAは開催地協会としての運営上の協力と国際手続きを行う)が提案された。

今までなかった新しい種目であることから、各理事や都道府県協会等の理解がまだ十分に浸透していない状況を懸念する意見等があり、特にイベントの開催地をはじめ、各都道府県に対して十分に説明を行い、理解を深めた上で実施していくことで承認された。

<承認>

(13) オフィシャルズ・マニュアルの製作について (堀井理事)

今年度からのルール改訂に伴うオフィシャルズ・マニュアルの製作について、改訂版のルールブックとともに多くの発注を受けていることから当初予算5千部から2万部に増刷することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(14) 指導現場における暴力行為等の根絶について (堀井理事)

バスケットボールの指導における暴力行為等について、実態調査を行った上で今後の根絶に向けた取り組みを徹底するため、コーチライセンス取得者全員に対してアンケートを行うことが提案され、承認された。

また、一方で各大会における管理、監視機能を発揮するための体制について、競技会委員会を中心に具体案を検討することとした。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告 (堀井理事)

2013年3月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部 (堀井理事)

国際交流試合実施にあたっての手続きを徹底するため、各都道府県協会への文書での通知を行うことが報告された。

(3) 事業戦略部 (吉田(長)理事)

2013年度のスポンサーの契約状況、バスケットフェスティバルの2013年度の実施計画、3x3日本代表セレクションの進捗状況が報告された。

(4) 新リーグ運営本部 (丸尾副会長)

7月の一般社団法人設立に向けて、定款や役員の選任等の準備を進めていること、また5月または6月に

にはその内容について提案する予定であることが報告された。

(5) **競技会委員会** (庄司理事)

「第11回デフ選手権大会」、「第26回都道府県対抗ジュニア大会(ジュニアオールスター)」および「第44回全国ミニ大会」の結果が報告された。

(6) **審判委員会** (吉田(利)理事)

上級審判の強化合宿の実施状況および海外派遣の実績および今後の予定が報告された。

(7) **男子ナショナル委員会** (佐古理事)

ユニバーシアード日本代表チームのトルコ遠征の結果が報告された。

(8) **女子ナショナル委員会** (高橋理事)

ユニバーシアード日本代表チームのオーストラリア遠征およびU-16日本代表のハンガリー遠征の結果が報告された。

(9) **テクニカル委員会** (佐々木理事)

U-18トップエンデバーおよびU-12関東ブロックエンデバー(中央講習会)の実施概要およびコーチライセンス義務付けに向けた適用大会レベルと範囲の検討状況が報告された。

(10) **国体委員会** (野村理事)

チーム数の変更およびU-16の採用についての進捗状況が報告された。

また、和歌山国体について、宿舍の不足の関係から競技日程の変更の打診があり、和歌山県へのヒアリングと国体委員会での検討を行い、5月の理事会に提案する予定であることが報告された。

(11) **その他** (堀井理事)

bjリーグ所属の宮崎シャイニングサンズに関する報道(bjリーグを退会し、NBDLへ参入)に関し、実際には何も決定していることではないことの説明があった。

尚、宮崎シャイニングサンズはbjリーグに退会届を出していることは事実であり、bjリーグにおいてまだ退会が認められていないことについて、JBAに対して仲裁の要請があったことが報告された。

(12) **その他** (松岡監事)

松岡監事および山崎監事より理事会に対する業務監査報告があり、これについて意見交換があった。

以上